

平成 23 年度予算
「みんなで生き生き『勢長』予算」

予算の内訳

一般会計	434 億 9,694 万 6 千円 (432 億 8,664 万 0 千円)
特別会計	125 億 6,883 万 8 千円 (121 億 4,765 万 6 千円)
国民健康保険	84 億 5,520 万 3 千円
土地取得事業	3,710 万 3 千円
公設地方卸売市場事業	4,258 万 3 千円
霊園事業	1 億 2,344 万 3 千円
介護保険	31 億 8,777 万 5 千円
後期高齢者医療	7 億 2,273 万 1 千円
公営企業会計	134 億 3,425 万 9 千円 (147 億 1,412 万 7 千円)
水道事業	27 億 1,044 万 6 千円
下水道事業	46 億 7,229 万 5 千円
病院事業	60 億 5,151 万 8 千円
合計	695 億 0,004 万 3 千円 (701 億 4,842 万 3 千円)

一般会計の歳入内訳

一般財源	241 億 7,742 万 8 千円 (240 億 6,033 万 5 千円)
特定財源	193 億 1,951 万 8 千円 (192 億 2,630 万 5 千円)
合計	434 億 9,694 万 6 千円 (432 億 8,664 万 0 千円)

※「一般財源」とは、市税など市が使い道を自由に決められるお金です。

※「特定財源」とは、国や道の支出金など、使い道が決められているお金です。

※()は、平成 22 年度の金額です。

東日本大震災に伴う緊急経済対策など

3月に発生した東日本大震災は、発生から4か月を経た現在も、大きな課題と不安を投げかけています。これから復興に向かっているときに、新しい未来へどう立ち向かっていくのか、どのように再生していくのか、私たちに課せられた課題は大きなものです。北海道内でも経済への影響が生じています。市は、被災地や被災者への支援を行うとともに、緊急的な経済対策として、市内経済の景気を上げ、市民生活と経済活動の安心・安定を確保するため、つぎの取組を進めます。

- 東日本大震災支援対策事業(1,600万円)
被災地への職員派遣、避難者の生活支援などの人的・物的支援を行います。
- プレミアムリフォーム券発行事業(1,000万円)
住宅のリフォーム工事などに使用できる10%のプレミアム付きリフォーム券(1枚5万円の券で5万5千円分利用可)を発行します。
- 地域消費促進事業(1,000万円)
7月31日までに市内の飲食店やホテル、小売店などのセール参加店を利用した方に抽選券を発行し、地域消費促進セールを行います。
- 観光客誘致宣伝事業(200万円)
支笏湖地区をはじめ市内観光のPRを行い、観光客を誘致するため、チラシなどを作成して札幌・千歳で配布する宣伝活動を行います。
- 支笏湖地区宿泊促進事業(630万円)
7月31日までに支笏湖温泉で宿泊した方を対象として、500円の「買い物・利用券」を配布し、支笏湖地区に宿泊客を誘致します。
- 災害応急対策用品等整備事業(481万円)
災害時に備えて、災害対策用非常用品などを購入します。
- 予備費(1,650万円)
今後の不測の事態に対応するための予備費。

※上記のほか、歩道の舗装補修工事や公園の整備などを当初予定より早めに行うなどの経済対策を進めています。

お問い合わせ

【市政執行方針について】

企画課企画調整係 ☎ (24) 0 4 3 9

【予算について】

財政課財政係 ☎ (24) 0 5 4 1

千歳は「村民総出の着陸場づくり」など一致団結の精神がまちづくりの根底に流れているまちです。日本が大きな危機を迎えている今こそ、市民と行政が共に力を合わせて、住み良さを実感し、誇りを持つるまちづくりを進めていくことが大切です。「市民力」と「都市力」を最大限に生かしながら、まちが直面する課題に対し真正面から取り組み、「発展が持続するまちづくり」に向けて、全力を尽くしていきます。今後とも、市民の皆さんのご協力、ご参加をお願いします。